2024 年 5 月 8 日

各位

アルー株式会社

（コード番号：7043　東証グロース）

人材育成・社員研修の「アルー」

持続可能なビジネスシナリオ構築を目指す海外派遣研修

『社会課題解決プログラム』を 5 月 10 日より提供開始

新興国の社会課題に対して解決策を提案する実践型のプログラムで

グローバルリーダーに必要な「社会課題解決に向けたビジネス視点」を養う

https://service.alue.co.jp/service/global/social-issues-solving-program

人材育成データ・機械学習技術等を活用した、社会人向け教育サービスの提供を行うアルー株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：落合文四郎、証券コード：7043、以下：当社）は、グローバルリーダーに必要な「社会課題解決に向けたビジネス視点」を養う海外派遣研修「社会課題解決プログラム」の提供を 2024 年 5 月 10 日より開始いたします。

■開発背景

＜企業のグローバル化が加速＞

国内市場の成熟化や人口減少といった要因により企業のグローバル化が加速する一方、深刻な課題となっているのがグローバル人材不足です。当社においても、企業からのグローバル人材育成に関するご相談が急増しており、特にコロナ禍が一区切りしたことで、現地に直接赴いて異文化経験を積む、より実践的な海外派遣研修に対する関心が高まっています。

＜企業のグローバル化に欠かせない社会課題解決のためのビジネス視点＞

企業が社会的信頼を築きグローバル市場で競争力を高めるためには、SDGs（持続可能な開発目標、2015 年国連サミットで採択）の視点を取り入れたビジネスシナリオを構築することができるグローバル人材を育成し、企業としての社会的責任を果たしていくことが求められます。

そこで、当社はこのたび、プレイングマネジャーの方や、将来海外でプレイングマネジャーとして、現地での課題解決やナショナルスタッフをリードしていく方向けの海外派遣研修「社会課題解決プログラム」を開発いたしました。

本プログラムでは、実際に現地の組織（NPO 等）から提示される社会課題の解決策を SDGs コンサルタントのアドバイスを受けながら、ビジネス視点で検討、提案までをおこなうことで、参加者の「社会課題解決のためのビジネス視点」を醸成します。また、ナショナルスタッフ役の現地メンバーと協働で課題解決に取り組み、現場でリードしていく経験を積みます。

当社は本プログラムの提供を通し、グローバル企業における人材の育成を支援していくことで、当社の Vision である「アジア人材育成 No.1 となる、 事業創造と人づくりで継続成長するグローバル企業」の実現へ向け事業の拡大に取り組んでまいります。

■アルーの海外派遣研修プログラム全体概要

アルーの海外派遣研修は、受講者のレベルや目的に応じて異なるプログラム構成となっており、今回提供を開始するプログラムは、グローバルプレイングマネジャー向けの「社会課題解決プログラム」です。

人物像イメージ	重点テーマ	推奨プログラム	プロジェクトワーク内容	語学力目安
グローバルビギナー 周囲の歩み寄りがあれば、文化背景や考え方の違いを考慮し、指示された業務を遂行することができる	対ヒト・コトテーマ	ミッションワークプログラム	アウェイ環境で、毎日与えられるテーマに基づいて、ミッションに挑戦し、現地で情報を集めるプログラム	**低** TOEIC 600点以下
グローバルプレイヤー 多様性による様々な違いに適応し、周囲のメンバーと良好な関係を築きつつ、アサインされた業務に対し、独力で成果を出すことができる	対ヒトテーマ	異文化課題解決プログラム	海外での異文化理解・異文化コミュニケーションに起因する実課題をヒアリングし、課題に対する解決策を検討・提案することで「多文化視点を醸成する」プロジェクト	**中** TOEIC 600点-800点
	対コトテーマ	ニーズ発掘プログラム	外国人と協働しながら自社のグローバルビジネスを拡大するための海外現地ニーズを見出すプロジェクト	
グローバルプレイングマネジャー お客様・組織・チームメンバーと信頼関係を築き、また、自己の強みを確立することで、小規模組織・チームを牽引することができる	対コト・ヒトテーマ	リアルビジネス課題解決プログラム	現地企業の実課題をヒアリングし、課題に対する解決策を検討、提案することで、「海外ビジネスの視点を醸成する」プロジェクト	**高** TOEIC 800点以上
	対コト・ヒトテーマ	社会課題解決プログラム	現地協会の業界課題をヒアリングし、課題に対する解決策を検討、提案することで、「社会課題解決のためのビジネス視点を醸成する」プロジェクト	

■「社会課題解決プログラム」概要

外国人メンバーとチームを組み、現地の組織（NPO 等）から提示される社会課題について、農村でのニーズ調査、市場マーケット、街頭でのインタビュー、企業・商業施設への訪問、ビジネスパーソンへのインタビューなど、多角的に集めた情報をもとに課題を整理し、SDGs コンサルタントの支援を得ながら、提案を形にしていきます。最終日に課題提供者に課題解決の提案を発表します。

＜現地でのアクティビティ（例）＞

A. オリエンテーション・目標設定・振り返り

B.チームメンバーとの企画・提案づくり

C. 現場の視察・課題理解

D. リソースパーソンディスカッション

E. フィールドワーク（農村・都市でのインタビュー）

F. フィールドワーク（関連企業/協会訪問）

G. プレゼンテーション

＜「社会課題解決プログラム」の流れ（例）＞

プログラム理解と語学力向上の事前研修を行った上で海外研修に参加、事後研修では現地での学びを職場で活かすための整理をおこない、研修効果を高めます。

＜現地でのカリキュラム（例）＞

・研修期間は 2〜3 週間（以下例は 2 週間プログラムの場合）

<table>
<tr><th></th><th>1日目（月）</th><th>2日目（火）</th><th>3日目（水）</th><th>4日目（木）</th><th>5日目（金）</th><th>6日目（月）</th><th>7日目（火）</th><th>8日目（水）</th><th>9日目（木）</th><th>10日目（金）</th></tr>
<tr><td>9:00-10:00</td><td>オリエンテーション</td><td>振返り・目標設定</td><td>振返り・目標設定</td><td>振返り・目標設定</td><td>振返り・目標設定</td><td>振返り・目標設定</td><td>振返り・目標設定</td><td>振返り・目標設定</td><td>振返り・目標設定</td><td>振返り・目標設定</td></tr>
<tr><td>10:00-11:00</td><td>目標設定</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク
【農村地域の
農家インタビュー】</td><td>ビジネスパーソン
ディスカッション
準備</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク
【都市の市民
インタビュー】</td><td rowspan="3">発表準備</td><td>プロジェクト
ワーク準備</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク
【ビジネスアドバイザー
・SDGs/ESGsアドバイザー
相談】</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク
【ビジネスアドバイザー
・SDGs/ESGsアドバイザー
相談】</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク</td><td>最終発表準備</td></tr>
<tr><td>11:00-12:00</td><td>チームビルディング</td><td rowspan="2">ビジネスパーソン
ディスカッション
【健康・医療従事者】</td><td rowspan="2">チームワーク振り返り
・
チームビルディング</td><td rowspan="2">最終提案</td></tr>
<tr><td>12:00-13:00</td><td>プロジェクト
ワーク:
事前準備の共有</td></tr>
<tr><td>13:00-14:00</td><td colspan="5">昼休憩</td><td colspan="5">昼休憩</td></tr>
<tr><td>14:00-15:00</td><td rowspan="3">担当者からの
現地社会課題の共有
情報整理
【地元協会訪問】</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク
【地元の伝統的な市場
視察＆インタビュー】</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク
【学生/教授インタ
ビュー】</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク
【先駆的な取り組み
企業訪問】</td><td rowspan="2">中間提案</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク
【ビジネスアドバイザー
・SDGs/ESGsアドバイザー
相談】</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク</td><td rowspan="3">プロジェクトワーク</td><td rowspan="2">最終提案
【地元協会訪問】</td></tr>
<tr><td>15:00-16:00</td></tr>
<tr><td>16:00-17:00</td><td>チーム振り返り</td><td rowspan="2">振返り</td></tr>
<tr><td>17:00-18:00</td><td>振返り</td><td>振返り</td><td>振返り</td><td>振返り</td><td>振返り</td><td>振返り</td><td>振返り</td><td>振返り</td><td>振返り</td></tr>
</table>

＜プロジェクトテーマの選定＞

現地×SDGs を参考に取り組みテーマを設定します。社会課題×ビジネス×異文化の要素を踏まえ、現地の組織（NPO 等）を選抜し、現場で人々が直面している課題・現実を語っていただきます。

【SDGs：持続可能な開発目標】

出典：環境省　持続可能な開発のための２０３０アジェンダ/ＳＤＧｓ
https://www.env.go.jp/earth/sdgs/index.html

＜マレーシアの社会課題をもとにしたプロジェクトテーマ（例）＞

3 すべての人に健康と福祉を

社会課題：高血圧・高血糖・高コレステロールが動脈硬化を引き起こし、心疾患が死因の第 1 位となっている。マレーシアにおける健康診断の受診率は約 50%と低く、経済的状況、アクセスの問題、健康意識の不足などが要因として考えられる。

＜研修実施国＞

マレーシア

■「社会課題解決プログラム」効果

以下のような効果が得られます。

・ビジネスと社会課題解決の両立を踏まえた解決策を策定できるようになる

・海外でのリアルな社会課題の解決策を考え、サステイナブルなビジネスモデルの構築に取り組むことを通じて、視座、視野、視点の拡大を図ることができる
・外国人メンバーとチームで協働しながら提案を実現可能な形に落とし込むプロセスを通じて、実際のビジネスの場における対応力が身につく

■アルー株式会社について

アルー株式会社は、「夢が溢れる世界のために、人のあらゆる可能性を切り拓きます ― all the possibilities ―」という Mission のもと、『育成の成果にこだわる』ことをテーマに、人材育成支援事業を行っています。新入社員から経営者層までの幅広いレイヤーに対する階層別研修の実施をはじめ、グローバル人材や DX 人材の育成などのテーマ別教育プログラムの提供、さらにはラーニングマネジメントシステム「etudes」を用いた e ラーニングの提供などを通して、 組織や個人の成長を人材育成の側面から支援しています。 顧客ごとに個別最適化されたソリューションの提案および実施によって顧客企業の多様な課題を解決することを目指し、グループ全体で事業に取り組んでいます。
https://www.alue.co.jp/

■本件に関するお問い合わせ先

・アルー株式会社　コーポレート部　　Tel　03-6268-9791
・ホームページお問い合わせフォーム　　https://mkt.alue.co.jp/l/882713/2021-03-18/xjpp